

今回のお知らせ

- 新潟本社行動計画「まもる・そなえる・こたえる」
- 避難支援機能の拡充
- 新潟県内各地で実施している広聴・広報活動
- 液状化対策を含む耐震強化工事

新潟本社行動計画「まもる・そなえる・こたえる」

当社では今年3月、柏崎刈羽原子力発電所の立地地域をはじめとする新潟県の皆さまのお考えに誠心誠意おこたえし、地域に根差した企業となるための基本姿勢をお示しする新潟本社行動計画「まもる・そなえる・こたえる」（以下、「行動計画」）を策定しました。

この行動計画では、「まもる・そなえる・こたえる」という基本理念のもとで、「安全性向上」「運営体制の構築」「防災支援」「地域貢献」「傾聴と対話」という5つの項目に対する当社の姿勢をお示しています。

これら5つの基本姿勢に基づく活動の一環として、立地地域の皆さまのご要望やご意見などの『声』をより近くでお伺いするために、柏崎市内に「まもる・そなえる・こたえる」オフィスを開設しました。

当社はこの行動計画に基づき、皆さまから伺った『声』をしっかりと共有し、具体的な取り組み一つひとつに反映していきます。

まもる

私たちは、世界最高水準の原子力安全実現のため、
不断の安全対策を実施していきます

そなえる

私たちは、万一の原子力災害に備えて、関係自治体と
連携しながら避難支援の取り組みを充実していきます

こたえる

私たちは、立地地域をはじめとした県民の皆さまからの
『声』を拝聴し、様々な取り組みに反映していきます

行動計画は
当社ホームページに掲載しています



新潟本社行動計画のロゴマークと基本理念



「まもる・そなえる・こたえる」オフィス

住所／柏崎市駅前2-2-41 UKビル1階

電話番号／0257-37-6250

避難支援機能の拡充

「避難支援チーム」の拠点を柏崎市内に移しました

万一の原子力災害発生時における地域の皆さまの避難等に関する支援を行う事を目的として、平成28年10月、「避難支援チーム」を設置しました。

これまで新潟市内に本拠を置いていましたが、災害発生時の速やかな対応はもちろんのこと、自治体や関係機関の皆さまから直接ご意見を伺う機会を増やして避難支援等に関する活動に反映する事を目的に、柏崎市内の「まもる・そなえる・こたえる」オフィスに移転しました。

広範囲な避難支援に向けて要員を増強しました

より広範囲な避難支援を可能とするために、柏崎市内に常駐している職員だけでなく、近隣の県に所在する16の事業所からも緊急時の初動要員を動員することとし、避難支援チームを約140名体制へと増強しました。

皆さまとの対話を通じてご意見やご不安の『声』を真摯に受け止め、
当社の防災や避難支援の取り組みに反映してまいります



Q 「避難支援チーム」の取り組み内容について、これまでと何が違うのか？

A 要員の増強や活動拠点の移転に加え、今後、自治体や消防、警察、自衛隊、近傍の医療・社会福祉関係者など専門的な立場の方々から直接ご意見を伺う機会を増やし、活動に反映していきたいと考えています。



Q 緊急時の避難は初動対応が重要だが、要員が140名では足りないのではないか？

A 国や自治体等が行う防災対策の検討に積極的に参加し、安全な住民避難に資する支援要員の確保や必要な資機材・物資の配備について対話を重ねてまいります。これらの対話の結果をふまえ、体制の拡充についても検討していきます。



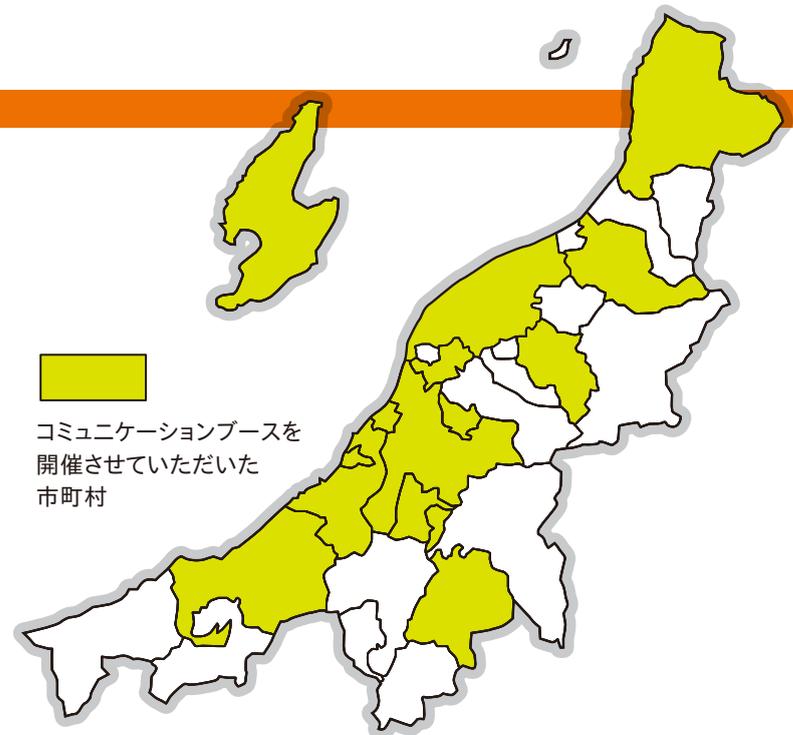
新潟県内各地で実施している広聴・広報活動

東京電力では、県内各地でコミュニケーションブースを開催しています。

福島第一原子力発電所事故の反省をふまえて取り組んでいる柏崎刈羽原子力発電所の安全対策等をご紹介させていただいているほか、ご来場いただいた皆さまのさまざまなご不安や疑問におこたえしています。

これまでに14市町村で開催し、8,000人以上の方々にご来場いただきました(2018年7月1日現在)。今後、より多くの地域で開催する予定です。

今後も新潟県の皆さまとの対話活動をすすめてまいります。



コミュニケーションブースで紹介しているおもな内容

- 福島第一原子力発電所事故の概要
- 事故の反省をふまえた柏崎刈羽原子力発電所の安全対策
- 新規制基準への審査の対応状況
- 世界や日本のエネルギー事情
- さまざまな発電方法のメカニズム など



VR(バーチャルリアリティ)をつかって発電所の安全対策などをご覧いただけます

液状化対策を含む耐震強化工事

柏崎刈羽原子力発電所6、7号機は、安全対策等に関する基本的な考え方について昨年12月に許可(設置変更許可)をいただいて以降、具体的な工事に関する詳細設計を行っているところです。

そのなかで、5～7号機側の複数の設備において、液状化対策を含む耐震強化工事を検討しています。

今後も、詳細設計の進捗に応じて対策工事をすすめてまいります。

